



国立病院機構の  
シンボルマーク

しん じ こ

# 灸道湖

独立行政法人国立病院機構  

**松江医療センター**  
**呼吸器病センター**

〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <http://www.mmedc.jp/>  
 発行責任者  
 院長 徳島 武  
 編集者  
 事務部長 嘉藤 一博



### 鱒淵寺（がくえんじ）の紅葉

鱒淵寺（がくえんじ）は、島根半島の平田地方の日本海側にある千四百余年の歴史を有するお寺で、かの弁慶も三年の修行の後に比叡山に登って牛若丸に会ったと伝えられている。秋には「いろはもみじ」が全山を赤く染めて、山陰有数の紅葉の名所でもある。

## もくじ

教育研修部から～組織としての教育研修部の構成を点検する。そして変える。～ 2～3 吹き抜けのある外来ホールでサマーコンサートを開催して 3～4 車椅子移動車（リフト車）を寄贈していただきました 4 外構工事の進捗について 4～5 「医学検査学会」にて優秀演題発表賞の表彰を受けました 5 メディカル・学生優秀演題賞をいただいて 5 平成26年度中学生・高校生の1日看護体験、中学生医療職場体験を実施して 6 せん妄看護研修に参加して 6～7 医療安全研修に参加して 7 副看護師長研に参加して 7 清掃ボランティアについて 7～8 健幸スマイル教室好評開催中 8 7月10日（木）2階病棟・3階病棟で「ふれあいの日」を行いました 9	1階病棟院内行事「暑気払い会」 9 ボウリング大会について 10 各診療科・各部門職場紹介 10～11 新人医師紹介 11 転勤で参りました 11 開業医紹介コーナー 12 地域医療連携室だより 13～16 松江医療センターふれあいまつり 17 松江呼吸器セミナー 18 しじみ会（七月たなばた号・八月夏の号・九月初秋号） 19 松江医療センターのマスコットキャラクターが決定しました！ 19 外来診療表 20
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 基本理念

私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。

## 教 育 研 修 部 か ら

### ～組織としての教育研修部の構成を点検する。そして変える。～

呼吸器内科医長・教育研修部長 門 脇 徹

皆さんこんにちは。このコーナーのご愛読感謝です。いつの頃からか内容がコラム的になっておりましたが、今回は教育研修部の現状と今後の展望について組織構成の点から記してみたいと思います。円滑な運営には目的と戦略が重要であり、それを達成するための組織構成は極めて重要なのです。

ここではやっぱり私の大好きなドラッカーの言葉。

「組織には守るべきいくつかの原則がある。一つ、組織は透明でなければならない。二つ、組織は誰もが理解できなければならない。三つ、組織には最終的意思決定を行う者がいなければならない。危機に際して指揮をとる者がいなければならない。」

教育研修部の責任者としてはこのような組織運営を心がけています。

2011年11月から活動を始めた教育研修部のコンセプトは「教育の発信源を一つにし、より効率のいい教育を提供しよう」というものであり、教育研修部は教育に関する全ての事項の把握と“フィルター”の役割・権限を持たせていただいております。業務を円滑に進めるため発足当初から4部門構成としています。時間内研修部門、時間外研修部門、院内認定部門、院外部門です(図)。それぞれの機能・役割は以下の通りです。

1. 時間内研修部門：時間内研修（主に看護部の研修）の企画・運営。
2. 時間外研修部門：教育研修部の前身である、“医療教育研修室”の業務継承。メンバーが多職種（ほぼ全職種）で構成されており、時間外に行う研修の企画・運営。院内のチームが行う研修についても広報等で支援。また時間外研修のビデオ撮影やDVD貸し出し業務。
3. 院内認定部門：呼吸器ケア，神経筋疾患看護，重症心身障がい児（者）看護，医療機器マスターの4課程の企画・運営と職員に対しての院内認定授与判定。
4. 院外部門：院外への情報発信すなわち，医療系職種向け（松江呼吸器セミナー），開業医向け（肺疾患懇話会）の企画運営。また，島根大学医学部学生実習受け入れなど。

全体運営や方向性の意志決定については教育研修部長，教育担当師長を含む数人でトロイカ体制のトップダウン方式で行っています。上記4部門にはそれぞれに責任者をおき，各部門で月1回程度のミーティングで運営状況の確認を行っています。さらに4部門を統括する「教育研修部運営委員会」を月に1回開催し，全部門からの活動報告をふまえて教育研修部全体としての意志決定を行っています。この「運営委員会」には普段教育研修部の業務に直接関わっていない事務部長，臨床研究部長にもオブザーバーとして会議に加わっていただき，教育研修部としての意見や打ち出した方針がバランスを保てるように配慮しています。この4部門システムに基づくトップダウン方式が当院の現状にはマッチしています。しかし，現状に満足しては成長は望めないし，発足後3年を経過した今，ドラッカーの言う「組織の構造を点検する」時期に来ていると考えるからなのです。今後数年間をかけて緩やかにこの4部門構成を変えていきます。

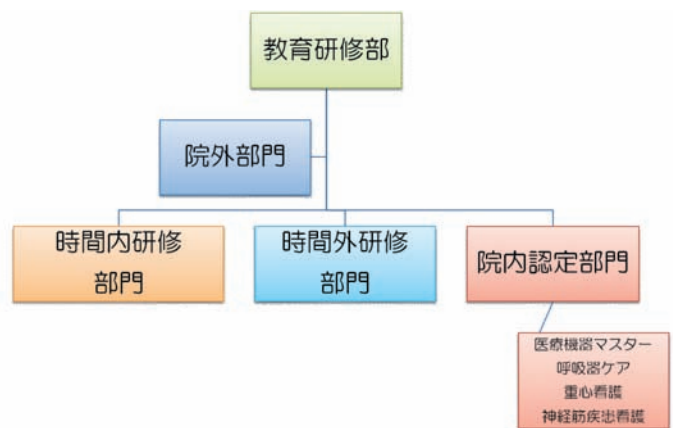
さて，どのように変えていくか？

逆説的ですが，私は「教育研修部」なる教育部門はない方がいいのだ，と思っています。これを読んだ皆さんは「？」と思われることでしょう。理想的には教育を提供する部門がなくとも，現場でスムーズに教育ができ，職員各々が主体的に新しい知識・技術を身につけて，仕事ができればいいのです。しかし，これはあくまで理想論。現実的には，さらに現場に即した教育のシステムが必要となってきています。今後数年間をかけて，教育研修部はボトムアップでの運営ができるようにシステムを変えていきたいと思っています。そう踏み切ると考えた理由は二点です。まず一点目。前述のように教育研修部発足当初からトップダウンで運営してきました。最初の頃は書類一つ作るのにも私自らが慣れない文書作成を行ったり，全ての会議に顔を出して一つ一つ意見を述べたりしていましたが，昨年度から教育研修部の運営もかなりスムーズで軌道に乗ってきていて，“当院の教育部門の「型」ができた”と自信を持てるようになりました。今後は一部の強力な意見で教育研修部を動かしていくのではなく，やる

気のある皆さんからの意見、そして現場からの意見をさらに集約しやすいようなボトムアップできる組織に移行が必要だと考えたのです。そして二点目。教育研修部の立場から、発足後のこの3年間で変化したこと…それは認定看護師と院内認定の職員の誕生、です！高度な専門知識と技術を持つ職員が増えてきたのです！この皆さんの叡智を結集すれば、さらにすばらしい教育のシステムができると考えました。実際に今年度から、専門領域は異なるものの、認定看護師4名をスーパーバイザーとして院内認定4過程のメンバーが月に一度のミーティングを行い、グループとしての活動を開始致しました。組織概念的には院内認定部門にぶら下がる格好（図）となっています。それぞれの責任者が院内認定部門のミーティングにも参加しており、横の連絡も取りやすくなってきているようです。来年度からは認定看護師、院内認定の職員は時間内・外部門にも加わっていただき、自らの専門性を活かせるような院内研修を企画・運営していただく予定です。来年度の教育研修部カリキュラム作成にも積極的に参加していただきたいと思っています。こうなってくると4部門構成が若干そぐわなく可能性があります。時間内・外、院内認定部門に複数のメンバーの重複が懸念されるからです。来年度はこの4部門構成の中で頑張っ

ていただきたいと思っていますが、近いうちに組織のスリム化が必要でしょう。組織をスリム化の利点は同じ人物が複数の会議に出席しないといけない状況をできるだけ減らし、仕事に集中できる状況を作れることです。勿論、来年度の活動状況や院内での研修の様子も見ながらの組織改編としますが、数年間をかけて組織のスリム化に取り組む考えです。

職員の皆さんに質の高い教育を提供できるシステムを構築することこそ教育研修部の使命です。教育研修部は院内外の状況を眺みながら、現場に即した組織運営と活動を行っていきます。この活動が「患者さん・ご家族がhappyになる」正しい道の上にあると信じて…。今後とも応援よろしくお願い致します！



## 吹き抜けのある外来ホールでサマーコンサートを開催して

5階病棟 看護師 山根実香

当院は本年2月に新外来管理棟が完成し、吹き抜けのある素晴らしい外来ホールができました。新外来管理棟の完成を記念して、8月7日(木)13:30~14:30に、外来ホールでは初めてのサマーコンサートを実施しました。

今年のサマーコンサートは“生演奏にふれる機会の少ない患者さんに、暑い夏の日々を忘れていただき、療養に前向きになれるような時間を提供する”をねらいとして、ヴィオラ奏者の沖田孝司様、ピアノ奏者の沖田千春様ご夫妻をお迎えしました。看護部広報委員会が企画・運営しましたが、初めて行う場所での企画であり、会場配置のイメージがつきにくく、前日~当日に事務部の協力を得て、広報委員全員で舞台設置のリハーサルを行いました。また、当日には睡眠時無呼吸外来があり、外来看護師や事業部の協力を得られるように要請しました。

当日は入院中の患者さんやご家族の方、総勢108名と予想を上回る参加がありました。参加者が多く誘導に時間がかかったため、開始時間が遅れてしまったのは、反省すべきことではありますが、嬉しい誤算でもありました。コンサートでは、四季折々の歌や誰もが知っている童謡、自作の曲等を演奏していただきました。曲の途中で涙を流される方もおられれば、目を閉じて心地よい音色に耳を澄ませておられる方もいらっしゃいました。また、演奏の合間に、聴いている私達に対して、「本当の歌詞はどちらですか。」というような質問を投げかけられる参加型で、世代を問わずとても楽しい時間を過ごすことができました。最後の曲の後には、患者さん達からアンコールの声が自然と沸き上がり、会場の全員が一体となった気がしました。サマーコンサートの後、「とても素晴らしかった。入院中にこのような素敵な演奏を聴けるとは思っていなかっ

た。」と笑顔で話される患者さんや、「いやー、よかったねえ。楽しい時間を過ごせたよ。」と会話をしながら病棟へ戻られていく患者さんの姿が印象的でした。

今回のサマーコンサートは外来ホールで行うという初の試みであり、どのようになるのか不安な気持ちでした。しかし、外来ホールに響き渡るヴィオラとピアノ

の素晴らしい音色を身体全体で感じ、患者さんやご家族の方の笑顔をたくさん見ることができ、開催できてよかったと心から思いました。演奏して下さった沖田ご夫妻、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。



## 車椅子移動車（リフト車）を寄贈していただきました

療育指導室長 塩 冶 悦 子

社団法人松江訓練センターは昭和54年に重症心身障がい児者、筋ジストロフィー児者をはじめとする障がい児者の援護救済を目的に設立されました。以来35年に渡り、松江病院時代からの入院・在宅患児・患者の活動支援を精力的に行って来られました。この度、法人を解散されることになり、所有されていた車椅子移動車（リフト車）を当院に寄贈してくださいました。

7月1日の寄贈当日は清算人の代表の方2名が目録

を贈呈され、患者さんのために役立ててほしいとのことのお言葉をいただきました。

移動用リフト車は、患者さんが車椅子に乗ったまま乗降ができ、座席への乗り換えも必要でないため、患者さんの身体的負担が軽減されます。今後、病棟での外出行事などで活用させていただき、患者さんの充実した療養生活に活かしたいと思います。

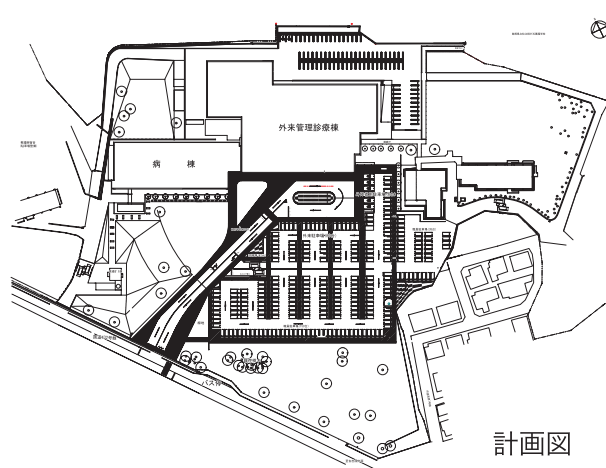


## 外構工事の進捗について

企画課長 嘉 数 和 俊

平成26年2月3日に外来管理診療棟がオープンし、現在、最後の整備となる旧棟の解体と外構（駐車場・緑地整備）工事が進められています。今回は平成27年3月の完成を目指して急ピッチで進められている工事の状況を報告します。

この工事は計画図（平面図）のとおり、入口はこれまでの進入口を拡張し片側1車線の対面通行とし外来管理診療棟の玄関前ロータリーまで130mの直線道路を通します。その向かって右側には250台収容可能な外来者及び職員の駐車場を設置、向かって左側は患者さんの憩いの場所として使用できる緑地を計画してい



計画図

ます。

工事は旧外来管理診療棟ほか43棟（酸素棟、ダイケア棟「体育館」とプール棟を除く全ての建物）を解体する工事から始まります。解体工事に当たっては周辺地域の方へご迷惑にならないように細心の注意を払うこととし、建物上屋については、はつり音の出ないよう圧砕機（写真）が使用されました。大きな歯でコンクリートの壁を一瞬にかみ砕いてしまう重機で、3階建



ての建物もあつという間に解体されていきます。10月初めには上屋全てを解体し、基礎部分の解体工事を11月末までに終え、地盤改良の後駐車場並びに緑地の整備に入ります。

駐車場は有人による管理を行い、これまで以上に行き届いたサービスが提供出来るようにする計画です。障がい者用駐車場も6台に増やすなど利用しやすい環境を整えるとともに、場内の美化等にも努めるなど管理の徹底を図ります。このため、本計画では駐車場入口にゲートを設けた有料駐車場方式としています。

緑地整備は病棟前を公園とし、その周りには東屋と小高い山を作り、患者さんが車椅子などでも散歩できる安らぎの空間を整える計画としています。災害時にはこの場所を避難場所としても使用していく考えです。

この工事が終われば平成21年から始められた病院建替えの全工程が完了します。きれいに整備された病院の全容が見える日が楽しみです。

## 「医学検査学会」にて優秀演題発表賞の表彰を受けました

臨床検査技師 清水友章

私は昨年の11月、日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会において、【血小板製剤輸血後に不規則性抗体が検出された症例】を演題として発表しました。そしてこの度、優秀演題発表賞を頂く事となりました。初めての演題発表での受賞となったので、最初は大変驚きました。私は学会発表で終わりにするのではなく、論文にして多くの方に広めていきたいと思えます。学会発表では100名前後の方が聴講されていましたが、発表だけではその100名前後の方にしか伝わりません。論文にすれば学会に参加されなかった方々もこの症例を通して知ってもらえることができます。

過分な賞を頂いた為、さらにハードルが上がったような感じですが次のステップに上られるように継続して自己研鑽に努めていきたいと思えます。



## メディカル・学生優秀演題賞をいただいて

4階西病棟 副看護師長 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 勝田聖子

人工呼吸器を装着している患者さんに対し早期離脱、安全管理、合併症予防、呼吸リハビリテーションなどを多職種でサポートするRST（呼吸ケアサポートチーム）を平成25年4月から立ち上げ活動しています。平成26年7月11日・12日に米子コンベンションセンターにて第51回日本呼吸器学会中国・四国地方会、第53回日本肺癌学会中国・四国支部会が開かれ、初めてメディカル部門が設けられたので「RST活動で見えてくるも

の」という演題で活動1年間の成果と課題を口述発表しました。私自身、認定看護師になってから学会発表は初めてでしたので手探りではありましたが、事前に先生方々からアドバイスをいただき、勇気を持って発表に挑むことができました。結果、優秀演題賞をいただくことが出来ました。とても緊張しましたが良い経験をさせていただいたと思えます。今後もRSTや認定看護師活動の成果を報告できればと思えます。

## 平成26年度中学生・高校生の1日看護体験、中学生医療職場体験を実施して

教育担当 看護師長 山本 純子

平成26年8月6日に、島根県看護協会主催で、看護に関心のある島根県内の中学生10名、高校生9名を対象に「中学生・高校生の1日看護体験」を実施しました。中学生は松江市にある6つの中学校から、高校生は出雲市、雲南市、安来市、松江市にある7つの高等学校から参加がありました。まずは、白衣に着替えてもらい、記念写真の撮影から始まりました。みなさん、白衣がとてもよく似合っていました。その後、当院の新人看護師2名が、看護師になるまでの経緯や、看護師になってからの様子を話し、病棟で看護体験をしてもらいました。昼食時には、管理栄養士からの話を聞いた後、病院食を試食し、「患者のために気を遣っていることが分かり、実際に食べてみるととてもおいしかった。」という言葉が聞かれました。一番印象に残った内容としては、病棟での看護体験が多く、患者さんに接した時の患者さんの反応に喜びを感じ、看護師の働いている姿を目の当たりにしたことで、一層看護師へのあこがれが強くなったと感想に書いていました。進路を決める上で、役に立つ体験ができたのではないかと感じています。この体験学習を実施するにあたり、他部門からの協力を得られたおかげで、看護師と他職種との連携の様子や職員の医療に対する姿勢を見て、当院に就職したいと感じた参加者がいたことを嬉しく思いました。

8月20日には、島根県健康福祉部医療政策課の主催で、島根県内の中学生を対象に「中

学生医療現場体験」を実施しました。これは、地域医療従事者をめざす中学生の育成を図ることを目的としており、県内4つの中学校より8名の参加がありました。医師、看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、薬剤師、放射線技師、療育指導員・保育士等、多職種の働く現場を見ながら説明を受けました。病棟での体験の際、聴診をさせていただいた患者さんから、中学生に対して「1つお願いがあります。県内に就職してください。」と言葉をかけられました。感想文には、「親に勧められて体験しに来たんですが、来てよかったとすごく思います。到底看護師や保育士になれないですが、今からでも頑張ってみようと思います。」「病院に色々な仕事があつて驚きました。」「色々な人が知らないところで協力し合っていることにすごく感動しました。」「病院は様々な職業の人で成り立っているということがわかり感動しました。」等、印象に残った内容をたくさん書いてくれました。

医療現場で働く姿を間近で見たことで、イメージとは違う新たな発見があり、そして色々な職種を見て、選択肢が増えたようです。この体験が中学生・高校生の進路選択や、当院を取り巻く地域医療の向上に役立てば幸いです。



## せん妄看護研修に参加して

5階病棟 看護師 島根 和也

7月19日に千葉県の国立がん研究センター東病院へせん妄看護の研修に行ってきました。せん妄は簡単に言うと患者さんが「あれ？いつもと違うな？」というような状態になることです。臨床で問題となる事が多いですが、判断が難しいものです。しかし早期発見・対応により症状の重篤化や遷延化を予防できます。

研修ではせん妄の基本事項の講義と、国立がん研究センター東病院で実際に導入されているせん妄アセスメントシートを用いたロールプレイを行いました。

せん妄アセスメントシートはせん妄の症状をチェックしていき該当があればせん妄の可能性ありとし原因検索、対応を行うものでとても使いやすかったです。研修で「せん妄かも!？」と思い早期に取り組むことの大切さを改めて認識しました。

島根県からの参加者は私1人でしたが、和気藹々とした雰囲気の中で楽しく研修に参加しました。チームでより良いせん妄看護を行えるように今回の学びを活かしていきたいです。

## 医療安全研修に参加して

4階西病棟 副看護師長 宅和栄子

6月23日から5日間、中国四国グループ内医療安全対策研修会Iに参加しました。看護師、薬剤師、事務職など40名が参加し、医療安全に関することを学びました。インシデントレポートの活用や事例分析の方法などの講義を受け、「ポータブルトイレ移動時の転倒事例」についてグループ討議を行いました。日頃の看護の中で度々遭遇するような事例であり、転倒に至るまでに幾つものサインが出されていました。その時々に関わったスタッフの気づきを声に出すこと、行動に移すことの大切さを痛感しました。また、『To Err is Human 人は誰でも間違える』ということのを常に頭におき、インシデントレポートの原因分析・改善策は多方面から考えていくことが必要であると改めて感じました。

## 副看護師長研に参加して

3階病棟 副看護師長 川谷みのり

H26年度中国四国グループ副看護師長研修は6月16日から6月20日、グループ事務所のある東広島市西条にて5日間の研修でした。幹部候補者任用試験の研修で、改めて独立行政法人国立病院機構について理解し、経営・労務管理等について学んだという遅蒔き種のような私は、若干のハードルの高さを感じつつ研修参加しました。

研修前の事前課題では人材育成についてレポートをまとめ研修参加し、リーダーシップ論・キャリアポートフォリオ等の講義を通じて、今後の自己課題と方策を具体的にすることができました。他の労務・経営に関する講義では、副看護師長に昇任後管理者として未熟であると考えていたことを学ぶことができ、日頃の業務に活かすことができています。

またテーマ別グループ討議では、他施設で副看護師長としての実践を積まれた上での考え方や、活動を知る機会にもなり、これからの自分の活動に大変刺激を受けました。グループ主催の研修参加は今回が3回目になりますが、今回もまた中四国管内の良き仲間をふやすことができた研修でした。

## 清掃ボランティアについて

看護部長 武海栄

平成26年7月29日（火）毎年実施されている清掃ボランティアに、今年も夏休み中の米子医療センター附属看護学校の1～3年生22名が来てくれました。学年毎に色の違うユニフォームで、とても笑顔の素敵な皆さんでした。改めて環境整備や清掃の大切さを感じ、患者さんの療養生活がたくさんの人に支えられていることも学べたようです。以下に、ボランティア参加者2名の感想文をご紹介します。



米子医療センター附属看護学校1年 永見明奈

私は、7月29日に行われた学生自主ボランティアに参加しました。半日という短い期間でしたが、廊下の手すりやドアノブを拭き、車いすの掃除をし、患者さんが入院しておられる病棟をきれいにし、気持ちよく使ってもらえるようにしました。

手すりやドアノブを拭くだけでも、どうすればきれいに拭けるか、また、素早くかつ丁寧に作業を行うにはどうすれば良いかなど、先輩や看護師さんの行う環境整備の方法を見せていただくことによって、色々と考えて行うことができました。これは、とてもいい体験になったと思います。今後も、今回のようなボランティアに参加する機会があれば、是非、参加したいと思います。

米子医療センター附属看護学校1年 福間美咲

夏休みに行われた学生自主ボランティアでは、思いの外環境整備が早く終了したので、入院しておられる患者さんとお話をさせていただく機会を頂きました。今回お話しさせていただいた患者さんは、たくさん話をしてくださり嬉しかったです。しかし、患者さんの話をしっかりと聞き取れない時もあり、また、私もうまく話せないこともあって申し訳なく思いました。私たち1年生の臨地実習は、秋から始まります。今日、実際に患者さんとお話をさせていただいたことが、貴重な体験となりました。ボランティア体験を通して、多くのことを学ばせていただいたので、これを活かして、今後も頑張っていきたいと思います。

健幸スマイル教室好評開催中

教育担当 看護師長 山本純子

看護部広報委員会では、入院患者さんや外来患者さんとそのご家族に、健康で幸せな毎日を送っていただき、笑顔で生活していただけることを願い、毎月第3水曜日に「健幸スマイル教室」を開催しています。毎回、10名前後の方が参加してくださっています。今年度の開催予定をお知らせいたします。多数の御参加をお待ちしております。

〈平成26年度の予定〉 日時：毎月第3月曜日 15時～15時30分 場所：5階病棟 研修室

月 日	テ ー マ	講 師
4月21日(月)	薬について	薬剤師 錦織 良平
6月16日(月)	食中毒について	看護師 杉野 彩香
7月14日(月)	食事で夏バテ予防	管理栄養士 山下 紗也佳
8月18日(月)	熱中症予防	看護師
9月22日(月)	嚥下について	言語聴覚士
10月20日(月)	風邪予防の対策	看護師
11月17日(月)	がんの化学療法	看護師
12月15日(月)	リラクゼーション	理学療法士
1月19日(月)	ノロ対策	ICTリンクナース
2月16日(月)	風邪予防と栄養	栄養士
3月16日(月)	嚥下について	摂食・嚥下障害看護認定看護師 栄道 洋五



栄養士のお話

ダイジェスト版と次回の御案内を総合案内のカウンターに置いております。



## 7月10日(木) 2階病棟・3階病棟で「ふれあいの日」を行いました

療育指導室 保育士 越野幸子

2階病棟は「沖縄旅行に行こう」をテーマに、飛行機に乗って沖縄へ出発。現地の方に扮した職員が「めんそ〜れ!!」と陽気にお出迎えをしたあと、寸劇による沖縄語（ウチナーぐち）クイズをして盛り上がりました。そして、準備体操〜ウチナー編〜という音楽に合わせて、親子でふれあい体操をしたり、海の中の美しい映像を観て沖縄旅行を満喫しました。最後に家族会からの素敵な踊りもあり、みんなで楽しい時間を過ごしました。



療育指導室 保育士 渡部みどり

3階病棟は、2階療育訓練室に患者さん全員とショートステイ利用者さん、ご家族と職員が一堂に集まり、初めに「カンカン娘」の歌に合せ家族会の方々がハツラツと踊っていただきました。次は、患者さんと看護師・療養介助員・療育指導室が「アナと雪の女王」の劇を行い、雪男からアナとエルサを守るため会場のみんで雪玉を投げ大盛り上がりとなりました。最後に五感を優しく刺激するスノーブレン体験を行いリラックスして会を終りました。



## 1階病棟院内行事「暑気払い会」

療育指導室 児童指導員 湯浅堅司

平成26年8月22日に、1階病棟の院内行事「暑気払い会」が幕開けしました。今回は食べること（昼食〜午後のティータイム）がメインの行事であったため、1階病棟患者自治会の皆さんと何が食べたいか、「あれも良いね。これも良いね。」と事前に相談しながら内容を決めました。

昼食はボリューム満点!!「高級!稲庭うどん」と「ジャンボハンバーグ」が登場しました。午後からは療育指導室プレゼンツの「南国BAR」がオープン!皆さんお目当てのカクテル（ノンアルコール）やアイスクリームをオーダーし、バーテンのカクテルさばきや南国の雰囲気を楽しみながら、行事が幕をおろしました。

行事後、参加された皆さんから多くの好評をいただいて本当に嬉しく思います。今回の行事でご協力いただいた家族会の皆さん、栄養管理室をはじめ他部署の皆さん、本当にありがとうございました。また、今後も患者さんの笑顔の花が数多く咲くような楽しい行事を企画、運営していきたいと思ひます。



## ボウリング大会について

4階東病棟 看護師 東田 由紀恵

6月11日に第16回院長杯争奪ボウリング大会が開催されました。今回は久々の開催とあって、多くの方々が参加されました。

院長の始球式でスタートした大会は、各レーンから歓声があがり大いに盛り上がりました。私は、4月に入職したばかりでとても緊張していましたが、同じレーンの方の声援で初参加にして初優勝をすることができました。ボウリング大会後の懇親会では、普段あまりかかわりのない他病棟や他部署の方と交流することができとても楽しかったです。

次回もぜひ参加したいと思います。



## 各診療科・各部門職場紹介

### 呼吸器内科



呼吸器内科の医師

肺がんはもとより結核を含む感染症、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、睡眠時無呼吸症候群、急性呼吸不全や慢性呼吸不全などすべての呼吸器疾患 に対し経験豊かな呼吸器学会指導医・専門医で診療を行っています。

呼吸器病センターとして皆様に満足して頂ける呼吸器医療を提供いたします。

### 神経内科



神経内科の医師

頭痛、めまい、物忘れ、手足のしびれ、ふるえ、脱力など神経疾患の診断・治療をおこなっています。検査は心理検査、筋電図、脳波、MRI検査、脳血流シンチ、DATスキャンなどが可能です。

パーキンソン病や脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの神経難病、筋ジストロフィーの専門的医療をおこなっています。

神経・筋疾患の遺伝子検査や遺伝カウンセリングもしていますのでご相談ください。

## 外科・呼吸器外科



外科・呼吸器外科・手術室スタッフ

肺癌、肺腫瘍、自然気胸、膿胸、縦隔腫瘍などの呼吸器疾患を中心に、4名の常勤の呼吸器外科医で手術を行っています。

新しくなった胸腔鏡専用手術室で手術患者さんのほぼ全例において、低侵襲で安全な胸腔鏡手術（内視鏡手術）を行っており、通算では2,200例を超えています。

また、気管支鏡下治療等も呼吸器内科の専門医と連携して、総合的な検査・治療等も呼吸器内科の専門医と連携して、総合的な検査・治療を行う体制をとっています。

## 新人医師紹介



氏名：城所嘉輝

①診療科：呼吸器外科

②経歴：

平成23年 鳥取大学医学部卒業

平成23年4月 豊橋市民病院 初期研修医

平成25年4月 鳥取大学医学部 胸部外科 医員

平成26年3月 鳥取大学医学部 麻酔科 助教

平成26年7月 鳥取大学医学部 心臓血管外科 医員

平成26年9月 鳥取大学医学部 胸部外科 医員

③専門：外科一般，呼吸器外科

④趣味・特技：アウトドアなど（をこれから趣味にしたいと考えているところです）

⑤ご挨拶：10月より赴任いたしました城所と申します。若輩者で、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、何卒ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 転勤で参りました



氏名：黒田裕介

職名：管理課長

ご挨拶：福山医療センターより異動しました。松江医療センターは11年ぶり2度目の勤務となりますが、建物が新しくなり全く初めての施設に勤務する感じです。今回は、管理課長として勤務いたします。円滑な病院運営の力となれるよう全力を尽くしたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

●●● 開業医紹介コーナー ●●●

病病・病診連携 No.9

内科・循環器科 院長 月橋 啓典

湖北つきはしクリニック

〒690-0260 島根県松江市岡本町1041-2

Tel 0852-88-3636

Fax 0852-88-3737

E-mail tsuki@mable.ne.jp



当院は松江市と出雲市（旧平田市）との境に近い宍道湖の北に位置します岡本町に在ります。宍道湖岸の一畑電鉄沿線で、道の駅あいなぎさ公園の前にあります。時代の流れの最前線と言われるように小児の減少、高齢者は率の増加、絶対数の減少。家族も仕事する必要がある在宅で看る人がいない世帯、老夫婦のみ世帯、一人暮らし世帯の増加、介護サービスの充実した町外の老人施設への入所等、結局、小児、高齢者ともに減少、空き家は増加しております。



あと職員3名、本日はお休みです。

さて、私とは申しますと松江の東津田の出身です。学生時代の部活動で長崎五島列島でのスキューバダイビングの宿中、部員がウニ針による刺傷、同部が感染し熱発しました。そのとき孤島の診療所で治療にあたってくれた医師の冷静で、手早い創部の処置、その後の指導に感銘を受け、就職が非常に厳しい時代でもあり、海洋学から医学へと志を変更しました。



今でもそのときの感銘を受けた気持ちを忘れず思い出そう心がけております。



在宅医療承ります。

循環器を中心に開業して13年経ちました、少々くたびれてきてはおりますが、医院で待つ医療だけでなく、最近では出向く医療や在宅医療にも力を入れていこうと思っております。開業も在宅医療も総合力のある医師、いわゆる総合医（家庭医）の必要性を強く感じ島根



海でも山でも出かけます。

大学医学部総合医療学講座の研究生になりました。専門医は病院、開業医は総合医で、地域医療は連携できれ目なく、という時代のような気がします。医療センターさんには地域の呼吸器疾患、神経難病疾患の患者さんや私を含め家族も祖母の代から大変お世話になっております。

新しくきれいになった医療センターさんはどんな患者さんを受け入れられるのでしょうか。やはり市中病院からの高度に専門的疾患を中心に診療されていかれるのでしょうか。

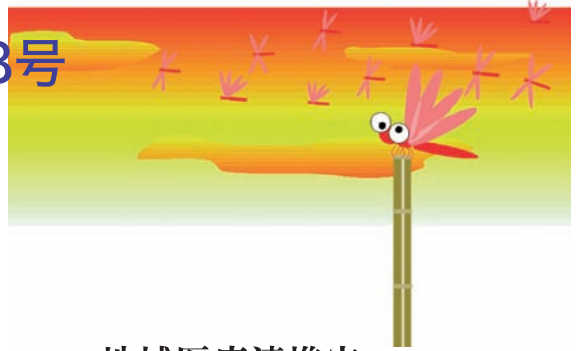
私自身体調不良の出る年齢になってまいりましたが、地域の方々へ切れ目のない医療が提供できますよう気力が続きますかぎり地域医療の一端を担っていく所存です。医療センターさんに在宅医療等で地域との連携構想がございましたら是非お誘いいただければ幸いです。今後ともお力添えをどうぞ宜しくお願いいたします。



看護師さんも私も膝が少々

# 地域医療連携室だより 第18号

2014年10月



## 1. アンケート調査協力の御礼

### 地域医療連携室

平素より、当院の運営にあたり格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当院では地域の先生方に国立病院機構松江医療センターをより身近な病院としてご利用戴くと共に、地域の先生方と協力して患者さんに安心される医療を行うことを目指し、平成16年に地域医療連携室を設置いたしました。

開設からこれまでの間、「迅速・丁寧・真心を込めた対応」を心がけて参りましたが、まだまだ至らぬ点が多々ありますことお詫び申し上げます。

医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等により、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築が求められている中で、今後、当院においても更なる地域医療連携を推進するにあたり、先生方や医療関係者の皆様からのご意見・ご要望を拝聴いたしたく、地域医療連携に係るアンケート調査を8月に実施させていただきました。

このたびは、突然のアンケート調査依頼にもかかわらず業務ご多忙の中、ご快諾とご協力を賜りましたこと、厚くお礼申しあげます。

今後、「当院の診療内容や治療の特徴等の情報公開を一層行う」「患者さんの治療方針など情報交換をより綿密に行う」「いっそう貴院や貴施設の皆さまがたと連携し信頼関係を深めていく」よう努力していきたいと思います。

また、ご紹介方法をはじめ、頂戴した貴重なご意見を無駄にしないよう一つ一つ検討を行い、患者さんがより早く受診して頂けますよう工夫していきたいと思います。

今後とも、「呼吸器病センターとして頼りにしていただいている」というありがたいご意見に恥じないよう、日々精進していきますので、よろしくお願い致します。



# 地域医療連携アンケート結果

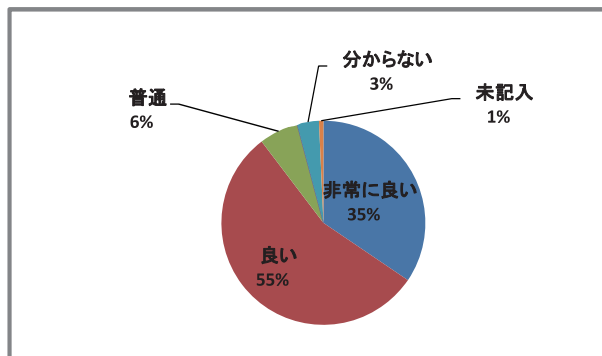
平成26年8月実施

## Q 1. 当院の診療内容は（サービスから診療内容を含めて）

### 回答結果

(単位：%)

非常に良い	50
良い	80
普通	9
悪い	0
分からない	5
未記入	1
合計	145



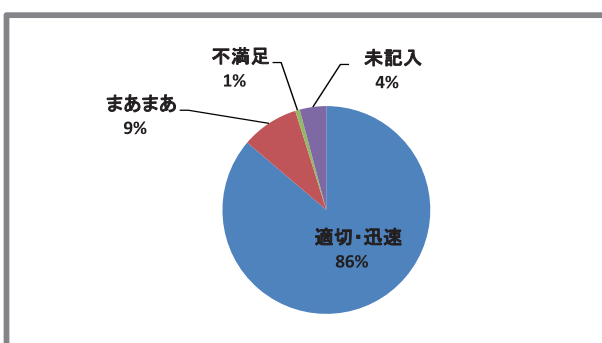
## Q 2. ご紹介いただいた患者さんの診療結果について

### 1. 紹介いただいた患者さんに関する医師からの報告時期について

### 回答結果

(単位：%)

適切・迅速である	125
まあまあである	13
不満足である	1
未記入	6
合計	145

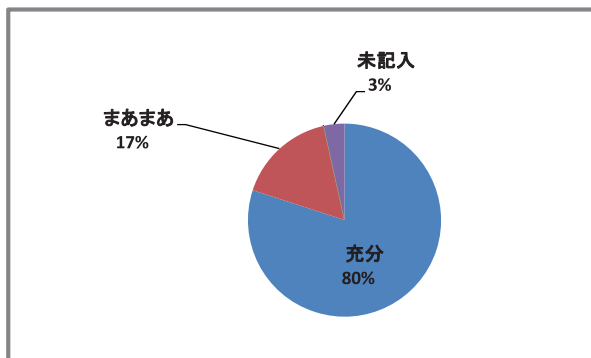


### 2. 診療情報提供書の内容について

### 回答結果

(単位：%)

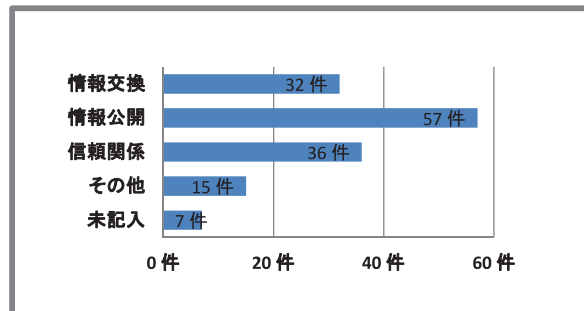
十分な内容が記載されている	116
まあまあである	24
不十分である	0
未記入	5
合計	145



**Q 3. 今後どのような改善があれば、より患者さんを紹介したいと思われますか。**

**回答結果 (複数回答可)**

患者さんの当院での治療方針など、医療情報交換をもっと綿密に行う	32 件
松江医療センターにおける治療の特徴等情報公開を十分行う	57 件
医師と医師の信頼関係をより深める	36 件
その他	15 件
未記入	7 件
合計	147 件

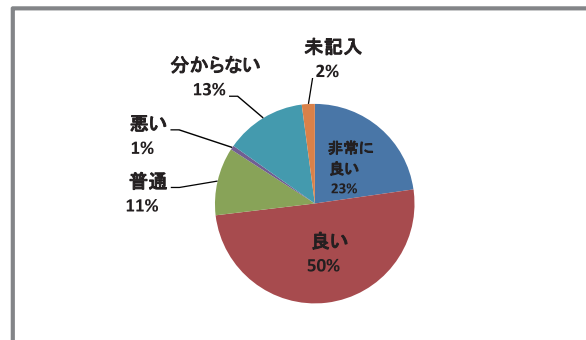


**Q 4. 当院職員 (医師・看護師・事務職員など) の接遇態度 (ご面談・お電話など) は**

**回答結果**

(単位：%)

非常に良い	33
良い	73
普通	16
悪い	1
分からない	19
未記入	3
合計	145

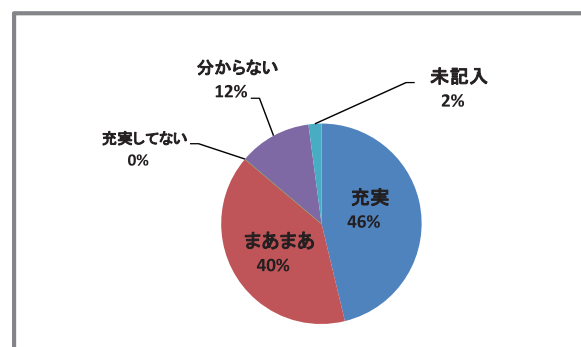


**Q 5. 四半期に一度発行させていただいております、広報央道湖や外来診療表について**

**回答結果**

(単位：%)

内容が充実している	67
まあまあである	58
内容が充実していない	0
分からない	17
未記入	3
合計	145

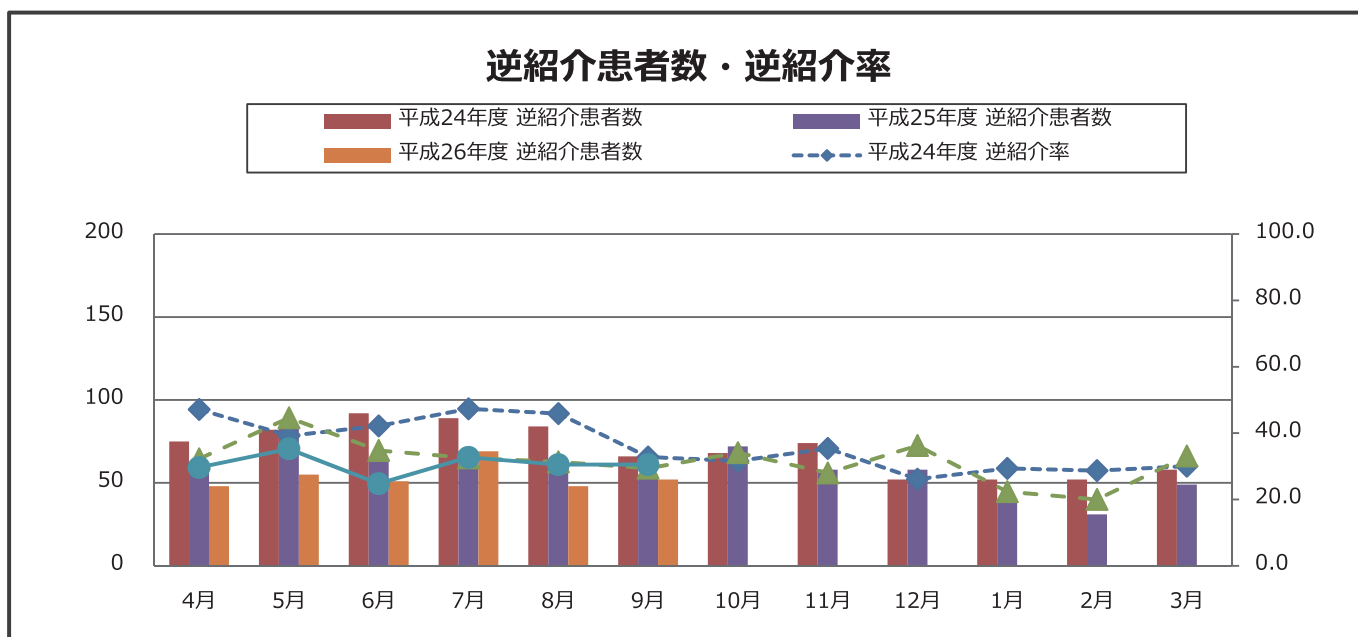
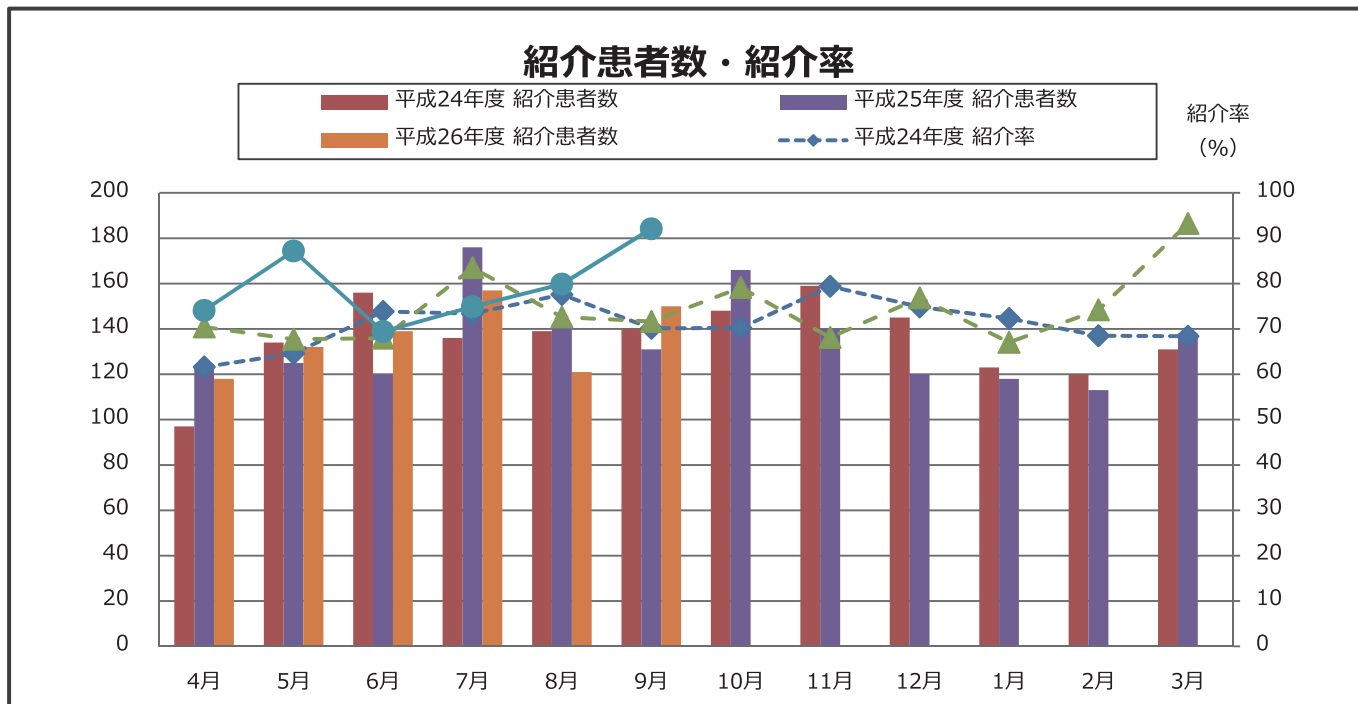


今回のアンケートで皆様からいただきました貴重なご意見は、更なる地域医療連携の充実・推進に向け役立てていきます。  
アンケートにご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。



独立行政法人国立病院機構  
**松江医療センター**  
呼吸器病センター

2. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



3. 退院支援データ



毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者	64人	57人	55人	68人	48人	44人						
退院先												
在宅	17人	12人	15人	8人	14人	11人						
施設	0人	2人	0人	3人	1人	1人						
病院	2人	2人	2人	8人	6人	1人						





-地域とともに  
- 明るい未来へ -

**オープニング** 10:00~10:30  
乃木保育所のみなさんによる鼓隊演奏

**体験コーナー** 10:00~15:00 (一部 12:00まで)  
美肌体験  
リハビリ体験  
心肺蘇生(一次救命処置)  
肺年齢測定  
喫煙状況チェック(呼気 CO 濃度測定)  
血圧測定

**健康相談コーナー** 10:00~12:00  
栄養相談・お薬相談・医師相談

**展示コーナー** 10:00~15:00  
栄養食展示  
肺手術の動画でのご紹介  
肺がんCT検診のすすめ  
職場紹介

**病院見学ツアー** 13:30~14:30

**イベント広場** 10:30~15:30  
ふれあいステージ  
しまねっこ登場 (11:30~12:00)  
音楽演奏 ほか  
松江医療センターキャラクター紹介  
患者さん&職員合同コンサート  
エンディングセレモニー

**作品展示・即売コーナー** 10:00~15:30  
患者さん&職員合同作品展示  
家族会フリーマーケット

**模擬店** 10:00~15:30  
パン・たこやき・やきそば・わたがし  
串焼き・豚汁・ぜんざい・カレー  
ヨーヨーすくい・スーパーボールすくい

**市民公開講演会** 12:00~13:00  
「認定看護師が患者さんにできること」  
★ 先着 100 名様に軽食プレゼント

**呼吸器よろず相談** 14:00~15:00

島根県観光キャラクター  
[しまねっこ]

11:30~12:00 に  
遊びに行くにゃ!  
みんな来てにゃ!



# 国立病院機構 松江医療センター ふれあいまつり2014

入場無料 雨天決行

〈日時〉

平成26年

11月8日(土)

AM 10:00 ▶ PM 3:30

〈主催・会場〉

国立病院機構 松江医療センター  
呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号

TEL: (0852) 21-6131 FAX: (0852) 27-1019 <http://www.mmedc.jp/>

お問合せ先: 管理課 岩井

島観連許諾第2197号

## 第5回 松江医療センター講演会

日時

2014  
**12.6 SAT**  
9:30-13:00

会場

国立病院機構  
松江医療センター  
3F 大会議室

参加費用

〔一般〕 ￥1500  
〔学生・当院職員〕 ￥500

※3学会合同呼吸療法認定士  
認定委員会認可講習会  
<12.5点取得可能>

お申込み方法 (メール)

✉ [kyoiku@mmedc.jp](mailto:kyoiku@mmedc.jp)

件名:「松江呼吸器セミナー申込」 本文:①氏名(フリガナ必須) ②施設名 ③職種  
④受講証明書の要・不要 ⑤駐車場利用の有・無

受付期間 2014年9月1日(月)~11月28日(金)



第5回テーマ

# 「ガイドラインも超えていく NPPVマスターへの道」

- 講演1. 「NPPV X ナーシング ~マスクを制するものはNPPVを制す?!~」  
慢性呼吸器疾患看護認定看護師・呼吸療法認定士 勝田 聖子
- 講演2. 「機器・インターフェイスがもたらしたNPPVの進化」  
主任臨床工学技士 笠置 龍司
- 講演3. 「NPPV X リハビリテーション ~早期リハビリの可能性を求めて~」  
理学療法士・呼吸療法認定士 加藤 保
- 講演4. 「NPPVガイドライン改訂のポイントとchallenging NPPV」  
呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

お問合せ先

国立病院機構 松江医療センター 教育研修部

教育研修部 直通電話番号 (0852) 21-6111 内線: 6509

✉ [kyoiku@mmedc.jp](mailto:kyoiku@mmedc.jp) <http://www.mmedc.jp/about/section/kyoiku/>



# 松江呼吸器セミナー

しじみ会 【七月たなばた号】・【八月夏の号】・【九月初秋号】

リハビリテーション科 作業療法士

- |                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・かき氷 赤富士かぶり 口赤く<br/>「となりの住人」</li> <li>・水郷祭 湖上花火に 歓喜沸く<br/>「永島さん」</li> <li>・ゆらゆらと こころ静まり 蛍の夜<br/>「京の静さん」</li> <li>・この暑さ 清水白桃 義母思う 甘く優しい 愛の味<br/>「愛佳さん」</li> <li>・蝉時雨 聞こえなくなり 秋が来る<br/>「カラス貝さん」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビート板 抱えてバタ足 水しぶき<br/>「小次郎さん」</li> <li>・夏本番 拍車をかける 蝉の声<br/>「Nさん」</li> <li>・里帰り 神楽の音に 迎えられ<br/>「白イルカさん」</li> <li>・ネイルして ルンバワルツも 軽やかに<br/>「ふた葉さん」</li> <li>・秋桜を 見るたび浮かぶ 祖母の顔<br/>「三度笠さん」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

松江医療センターの  
マスコットキャラクターが決定しました!

当院では、今年6月から8月にかけて、地域の皆様に親しみを持って頂くことを目的に、病院キャラクターの募集をし、たくさんの方々からご応募頂きました。

ご応募いただいた作品を選定審査委員会で審査した結果、最優秀賞には「松丸くん」が選定されましたのでお知らせします。

ご応募頂いた皆様、どうも有り難うございました。



外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成26年10月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科	日	神田	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 神田 響 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子	
	月	多田	神田	岩本	西川	木村		【副院長】呼吸器一般（肺循環・肺がん・結核他） 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
神経内科	火	矢野	門脇	池田	矢野	小林	【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二	
	水	下山			足立	隔週 鳥大医師		【臨床研究部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	木	鳥取大学医学部医師の診療予定日（隔週金曜日） 10月10日・10月24日・11月7日・11月21日・12月5日・12月19日					伊藤	
	金	徳島		目次		伊藤		【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術（肺癌・自然気胸他） 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	月	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	火	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (予約)	久保田 (中村) (予約)		【麻酔科】 西村友紀子
発達 専門外来	水	中村	中村	久保田	中村	久保田	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	木							【麻酔科】 西村友紀子
予防接種	金						【外科】 徳島 武 目次 裕之 伊藤 則正 城所 嘉輝	
	月							【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子
肺がん検診	火	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【外科】 徳島 武 目次 裕之 伊藤 則正 城所 嘉輝	
	水							【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子
睡眠時無呼吸 外来	木				呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	金							【麻酔科】 西村友紀子
息切れ 外来	月		呼吸器内科 担当医(予約)				【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	火							【麻酔科】 西村友紀子
喘息 アレルギー外来	水					池田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	木					池田 (予約)		【麻酔科】 西村友紀子
咳嗽外来	金						【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	月							【麻酔科】 西村友紀子
禁煙外来	火				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	水							【麻酔科】 西村友紀子
アスベスト 外来	木		小林 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	金							【麻酔科】 西村友紀子
嚔下障害 外来	月						【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	火		小山 (予約)					【麻酔科】 西村友紀子
神経難病 外来	水		小山		足立芳樹		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	木							【麻酔科】 西村友紀子
筋ジストロフィー 専門外来	金				下山 (予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	月							【麻酔科】 西村友紀子
セカンド オピニオン 外来	火	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 中村 裕子	
	水							【麻酔科】 西村友紀子

診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30  
自動再来受付 8:00~11:30

独立行政法人 国立病院機構 **松江医療センター**  
呼吸器病センター  
〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号  
電話 (0852) 21-6131(代)  
医療連携室直通電話 (0852) 24-7671  
医療連携室 F A X (0852) 24-7661



特 殊 外 来	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00~17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,400円
	睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00~16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00~15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30~11:00 (要予約) 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 9:00~12:00 嚔下障害外来 (要予約)
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00~12:00 神経難病外来
	筋ジストロフィー 専門外来	診療日：毎週木曜日（予約＝指導室まで）9:00~12:00 内容と特色：筋ジス病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院（筋ジスドック）も受け付けています。
	セカンド オピニオン 外来	診療日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。